2012年3月期
決算説明会



2012年5月25日

株式会社アドバネクス

本資料は2012年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

主な内容

1. 2012年3月期決算の概要

2. 2013年3月期通期見通し

3. 今後の事業方針

ADVANEX

1. 2012年3月期決算の概要

1-1　2012年3月期連結業績概要

（百万円）	2011年3月期 通　期	2012年3月期 通　期	前年同期増減	
			額	%
売上高	31,459	25,191	△6,268	△19.9%
売上総利益	6,192	5,341	△851	△13.7%
営業利益	552	612	60	10.9%
営業利益率	1.8%	2.4%	0.7%	–
経常利益	326	470	143	43.9%
当期純利益	△152	226	379	–

ADVANEX

1-2 通期連結業績のポイント

◆減収・増益

・売上高はモーター子会社の非連結化と東日本大震災やタイの洪水等の影響により、前期から大幅に減少。一方、営業利益は、プラスチック事業の収益改善とヒンジ事業の損失縮小により、前期に比べ10.9%増加。経常利益も43.9%増加。

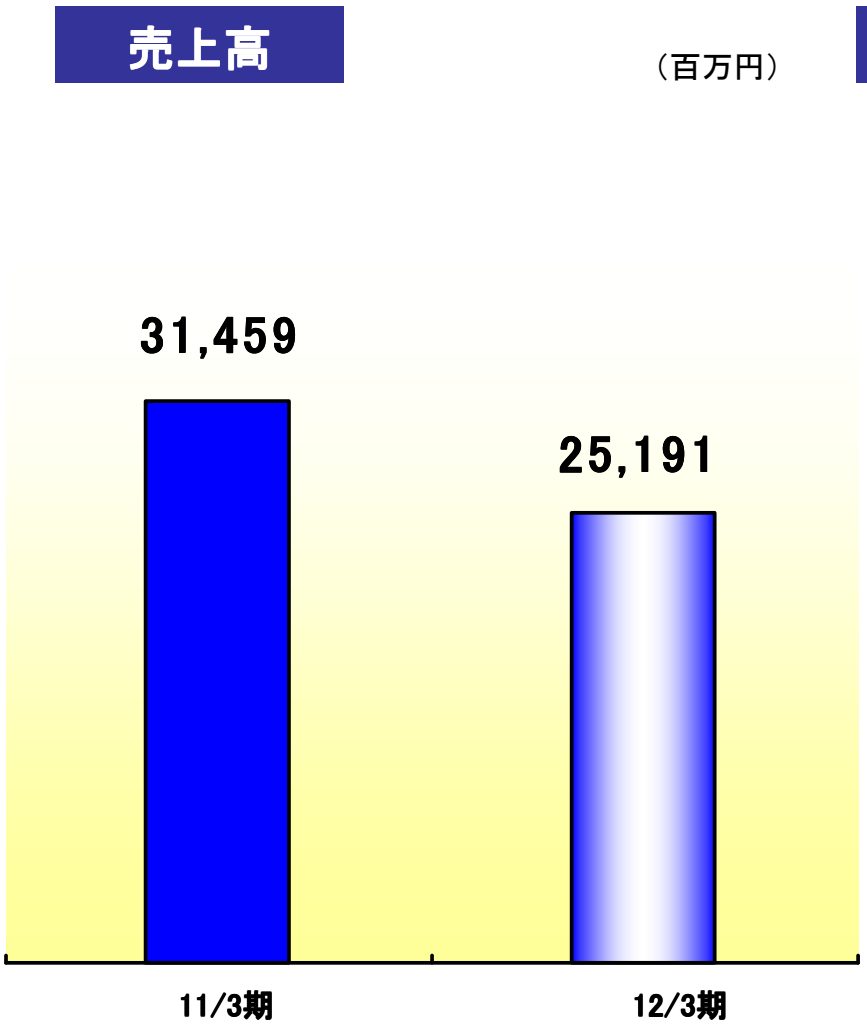
◆最終損益は5期ぶりに黒字

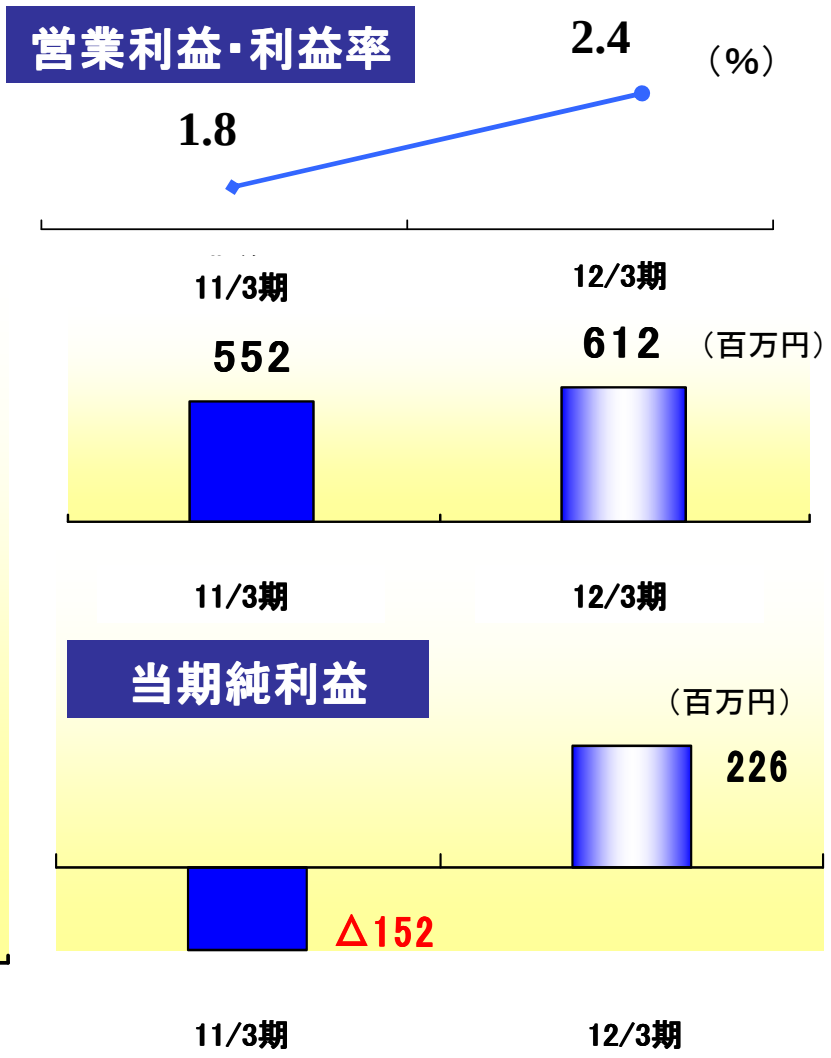
・洪水被害を受けたタイ工場の保険金収入や年金制度の移行に伴う特別利益の発生があったほか、特別損失が前期に比べ大幅に減少。当期純利益は2億26百万円となり、平成19年3月期以来の黒字を計上。

◆ヒンジ事業の縮小と再編

・株式会社ストロベリーコーポレーションを昨年11月に完全子会社化。今年2月にはPC事業を売却。携帯電話向けも縮小徹底し、事業再編。

1-3　通期業績推移（連結）



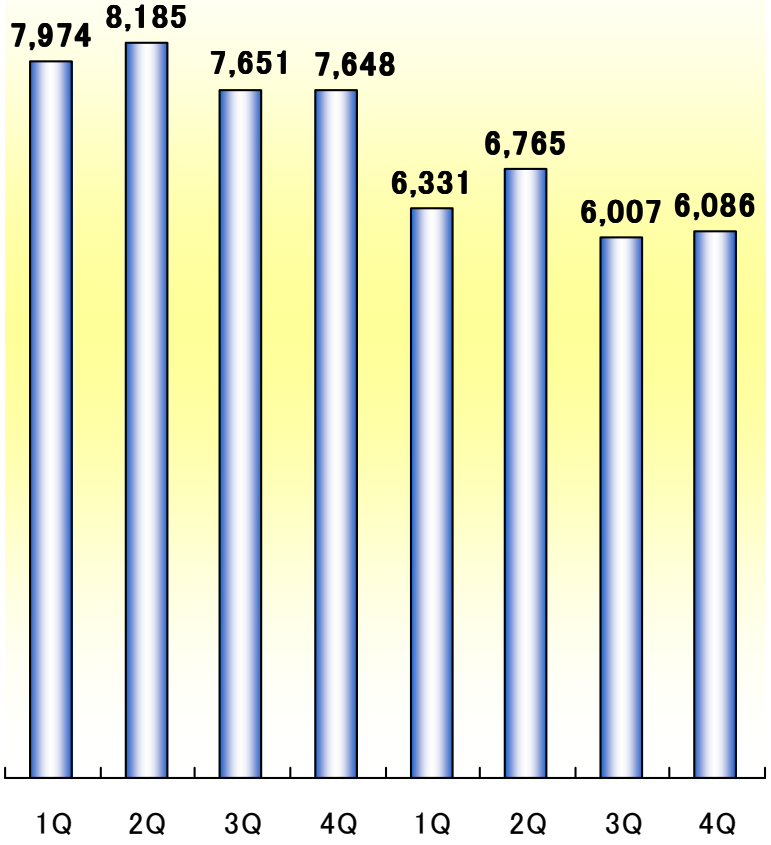


ADVANEX

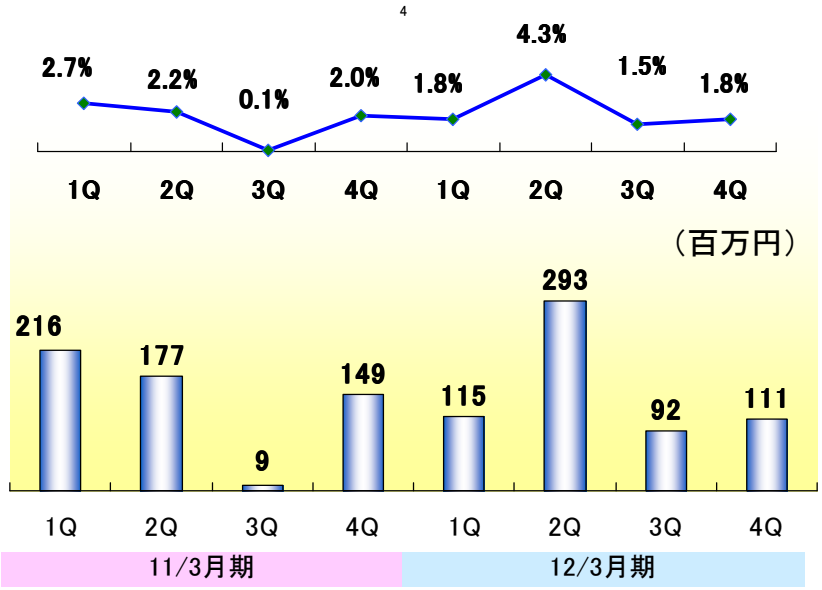
1-4　四半期業績推移(連結)

売上高

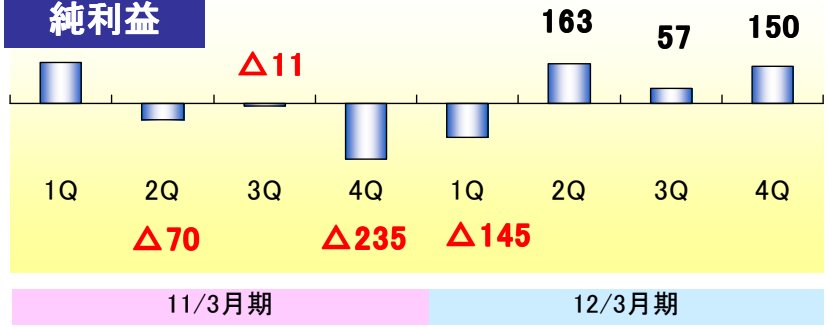
（百万円）



営業利益・利益率



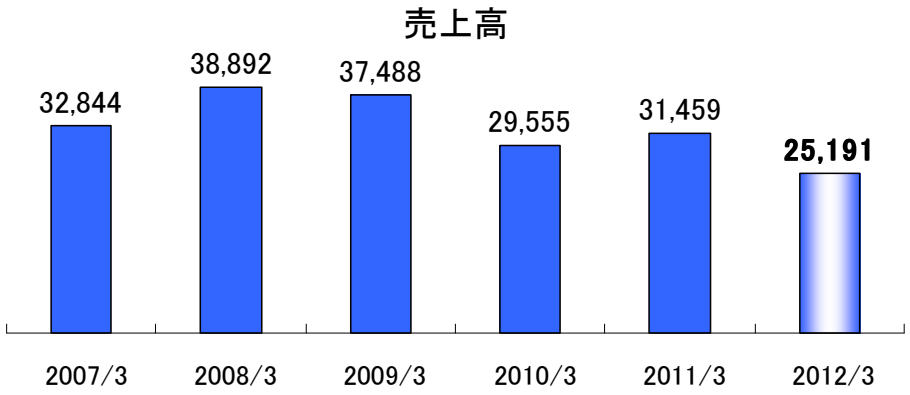
純利益

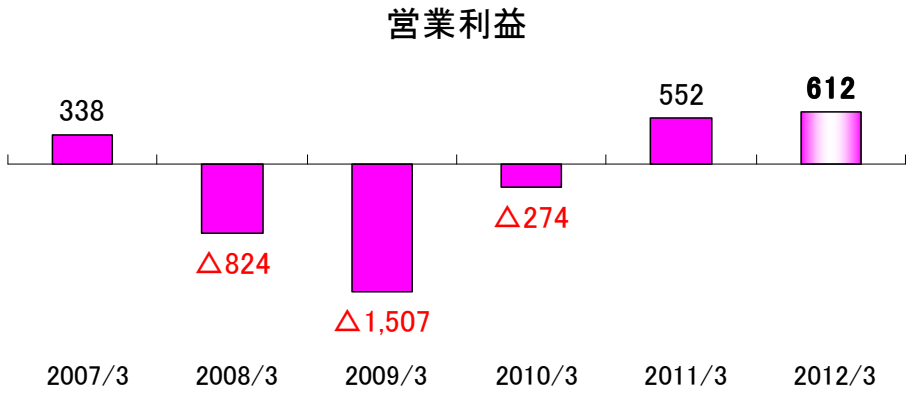


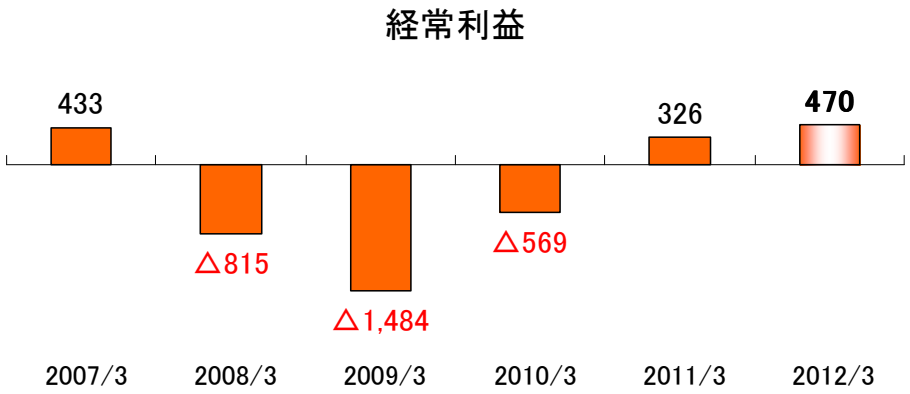
ADVANEX

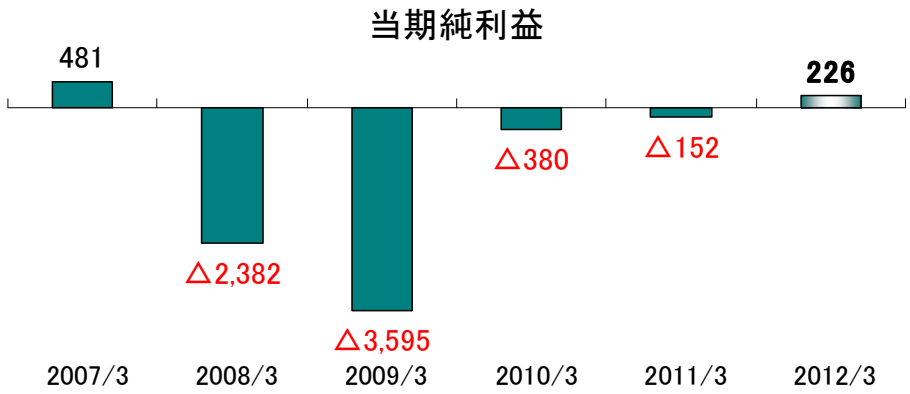
（参考）過去の業績推移

（百万円）





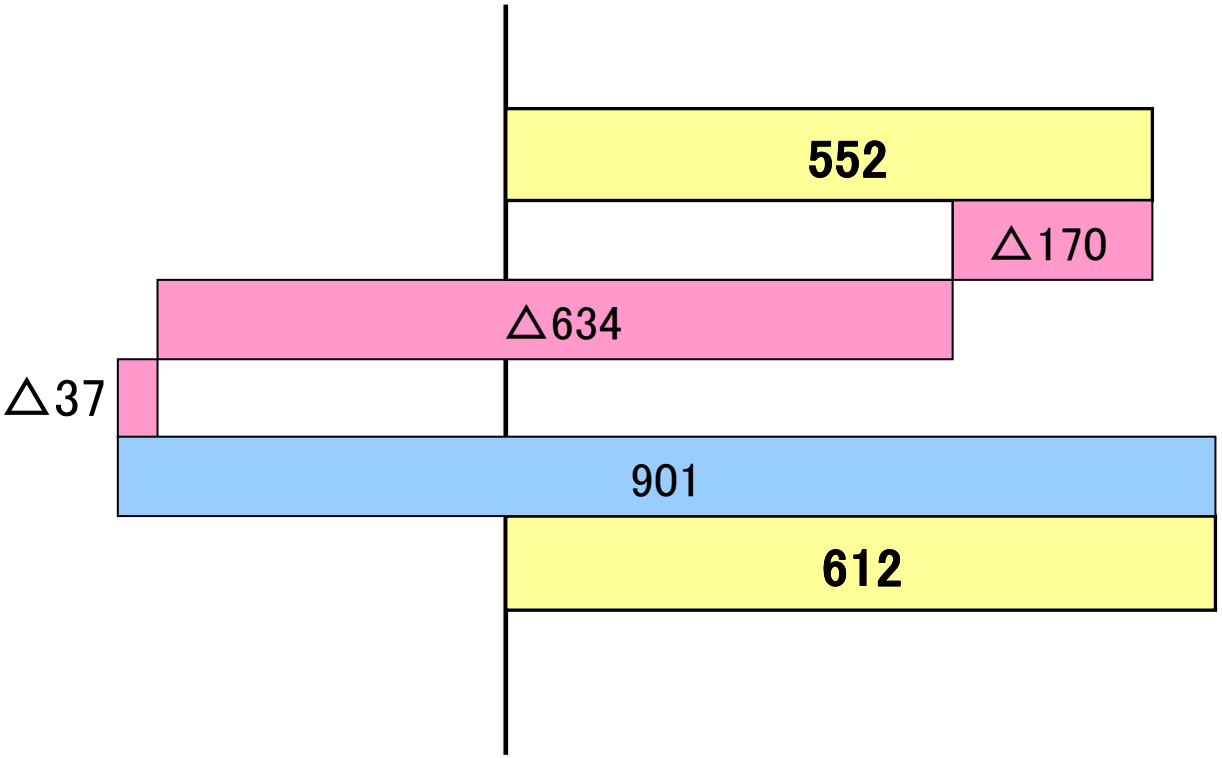




ADVANEX

1-5　営業利益増減分析

（単位：百万円）



2011/3期営業利益

モーター事業の連結除外による

売上高減少（モーター事業以外）

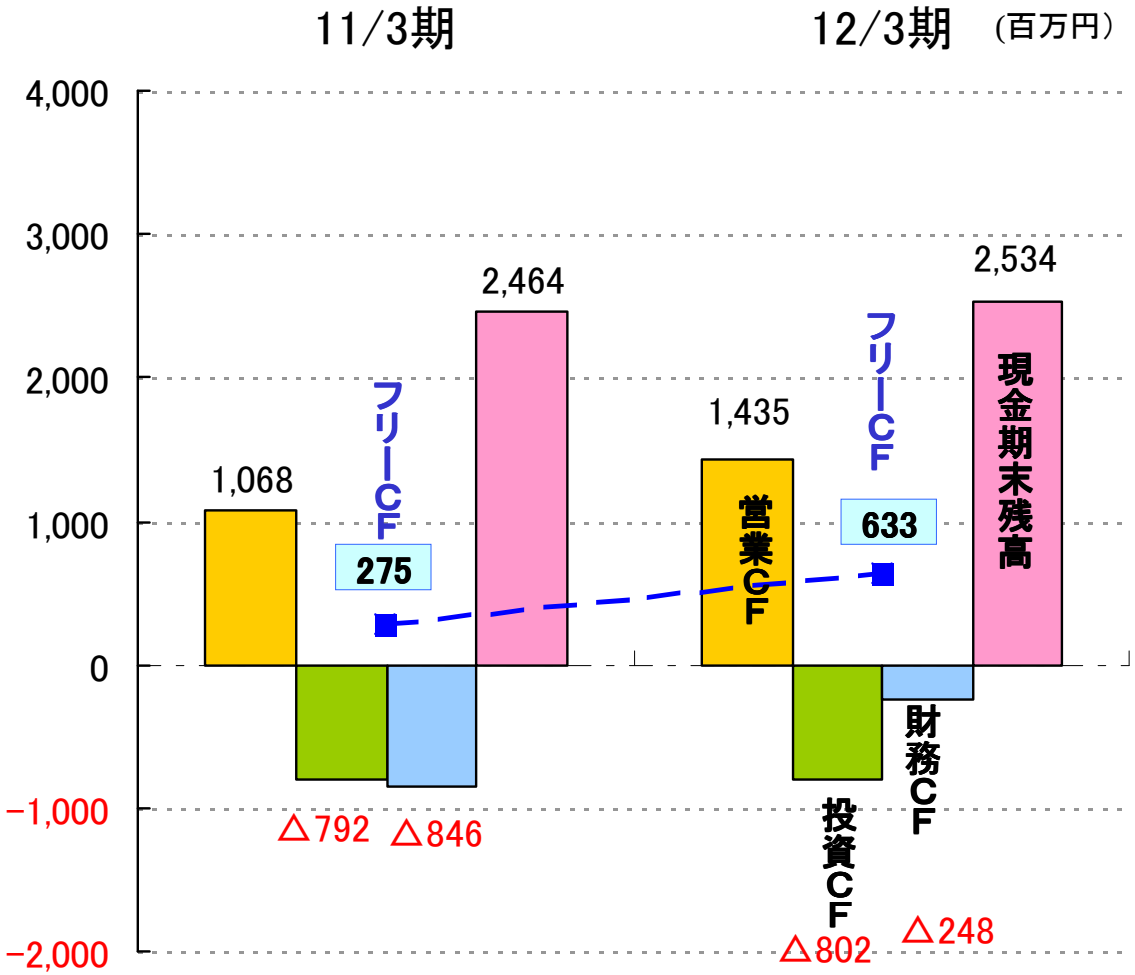
変動比率悪化（製品値下げ等）

固定費減少ほか（ヒンジ合理化等）

2012/3期営業利益

ADVANEX

1-6　連結キャッシュフロー



＜12/3期の状況＞

営業活動によるCF

利益の計上、減価償却費による資金留保、売上債権の減少等により資金が1,435百万円増加

投資活動によるCF

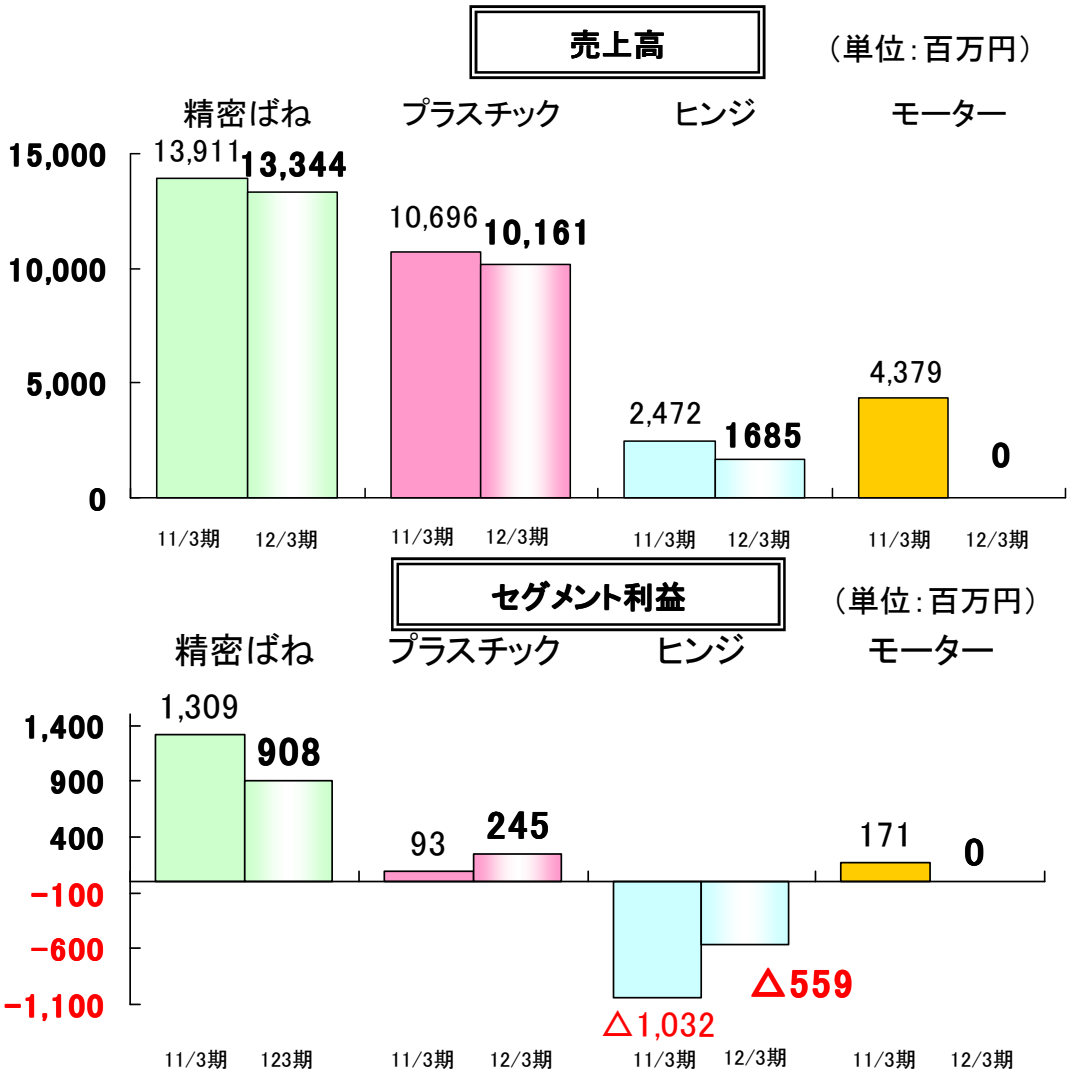
国内やアジアの生産拠点における設備投資に伴い資金が 802百万円減少

財務活動によるCF

有利子負債の返済により資金が248百万円減少

ADVANEX

1-7 事業別売上高・営業利益



＜前期からの変動要因＞

精密ばね

・国内は震災の影響で、OA機器向けの売上高が減少。PC関連向けの収益性の高い製品の売上増加等により、利益は増加。

・海外は、タイの洪水による売上減少、英国の売上減少とコスト増加が響き、利益が減少。

売上：△4.1%、セグメント利益：401百万円減少

プラスチック

・国内は自動車向けが堅調。OA機器向けは製品売上高が減少したものの、収益性の高い試作等の受注が増加、またインサート成型品の収益が改善。ベトナムの売上増加等、海外の収益も改善。

売上：△5.0%、セグメント利益：152百万円増加

ヒンジ

・携帯電話向け事業の縮小とPC向け事業売却に伴い、下期に売上高が減少。製品値上げや人件費等の固定費削減により、損失額縮小。

売上：△31.8%、営業損失：473百万円減少

モーター（今期から除外）

フジマイクロが持分法適用会社に移行したため除外

ADVANEX

1-8　所在地別売上高・セグメント利益

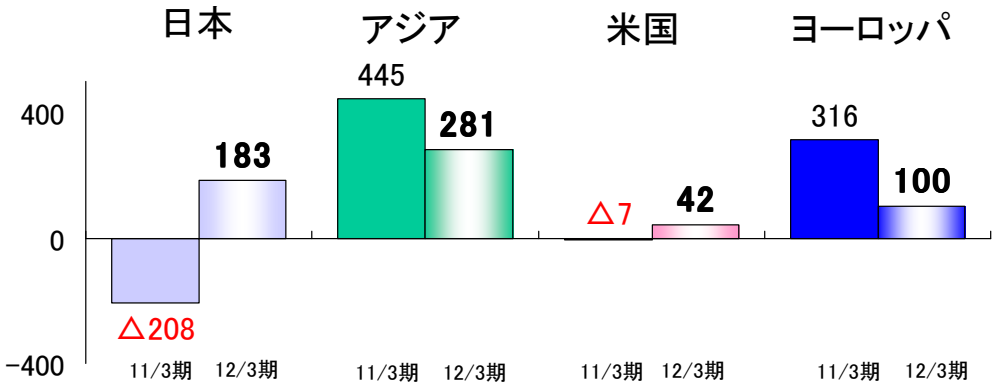
売上高

（単位：百万円）



セグメント利益

（単位：百万円）



＜前期からの変動要因＞

日本

モーター子会社の非連結化による売上減少に加え、震災の影響や顧客の海外生産移管等でプラスチック事業の売上が減少。ヒンジ事業も縮小。

精密ばね事業は、PC関連部品の売上増加により増益。プラスチック事業も収益性の高い商品構成比増加等により、増益。ヒンジ事業は、2Q以降赤字幅が縮小。

＜売上：△25.9%、セグメント損益：392百万円改善＞

海外

欧州はタングレスコイルスレッドの売上減少やコスト増により、減収・減益。アジアはプラスチック事業が収益改善するも、精密ばね事業は、震災の影響やタイの洪水被害等により減収・減益。

＜売上：△8.1%、セグメント利益：328百万円減少＞

ADVANEX

1-9　連結市場別売上高

（百万円）	11年3月期		12年3月期		増減	
	通期	構成比	通期	構成比	額	増減率
OA機器	9,001	28.6%	7,245	28.8%	△1,757	△19.5%
自動車機器	6,440	20.5%	6,869	27.3%	429	6.7%
携帯情報端末	1,788	5.7%	1,231	4.9%	△557	△31.1%
AV・家電機器	2,139	6.8%	1,262	5.0%	△877	△41.0%
精密機器	1,698	5.4%	1,484	5.9%	△214	△12.6%
PC・周辺機器	1,739	5.5%	1,816	7.2%	77	4.4%
医療機器	1,089	3.5%	792	3.1%	△295	△27.1%
その他	7,567	24.0%	4,490	17.8%	△3,073	△40.6%
合計	31,459	100%	25,191	100%	△6,269	△19.9%

2. 2013年3月期通期見通し

2-1　2013年3月期業績予想について

■売上高はほぼ前期並み

精密ばね事業やプラスチック事業において自動車向けの売上増加を見込むものの、OA機器やPC関連向け売上高の減少、携帯電話向けヒンジ事業の縮小から、売上高については、ほぼ前期並みを予想。

■ヒンジ事業の損失が大幅に縮小

精密ばね事業の利益が減少するものの、プラスチック事業の増益とヒンジ事業の損失縮小により、営業利益についてもほぼ前期並みを予想。最終利益もほぼ前期並み。

2-2 2013年3月期通期業績予想(連結)

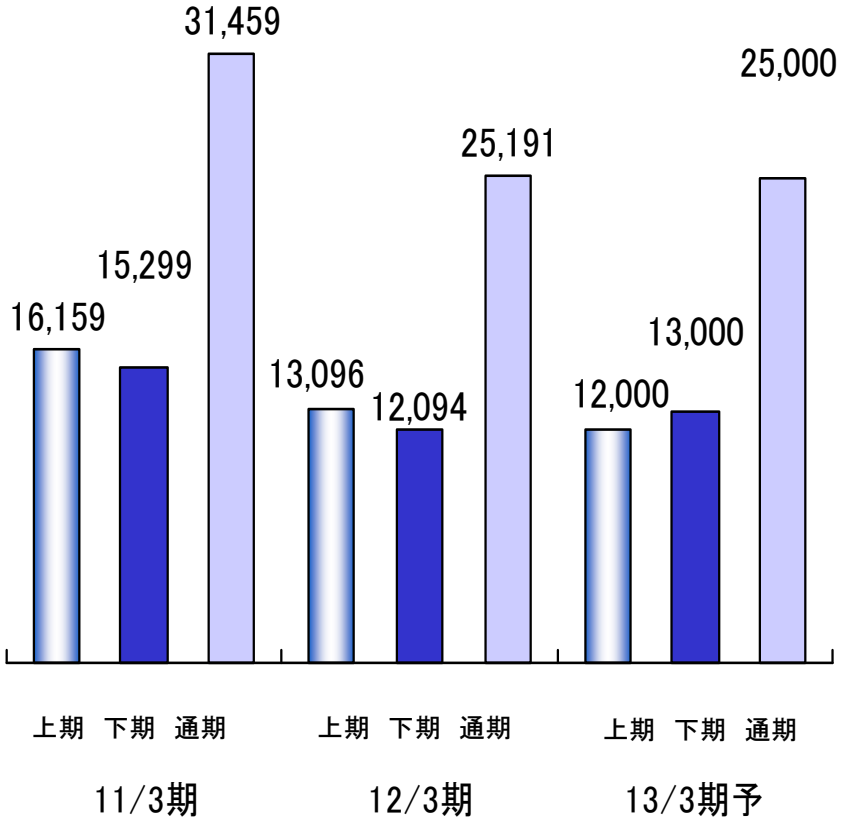
(百万円)	12年3月期		13年3月期		第2四半期増減		通期増減	
	2Q累計	通期	2Q累計	通期	額	率	額	率
売上高	13,096	25,191	12,000	25,000	△1,096	△8.4%	△191	△0.8%
営業利益	409	612	200	650	△209	△51.1%	38	6.0%
営業利益率	3.1%	2.4%	1.7%	2.6%	△1.4%	-	0.2%	-
経常利益	190	470	80	350	△110	△58.1%	△120	△25.6%
当期純利益	17	226	50	200	33	179.1%	△26	△11.7%

ADVANEX

2-3 業績推移(連結)

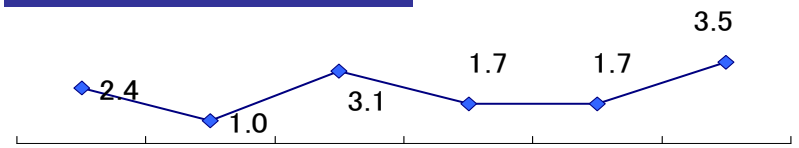
売上高

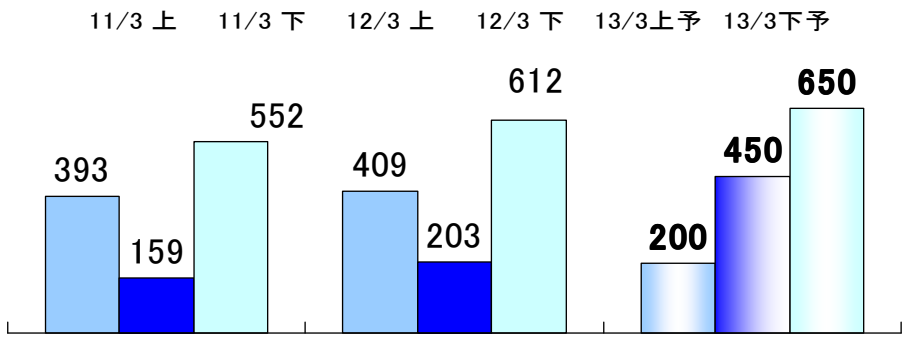
(単位:百万円)



営業利益・利益率

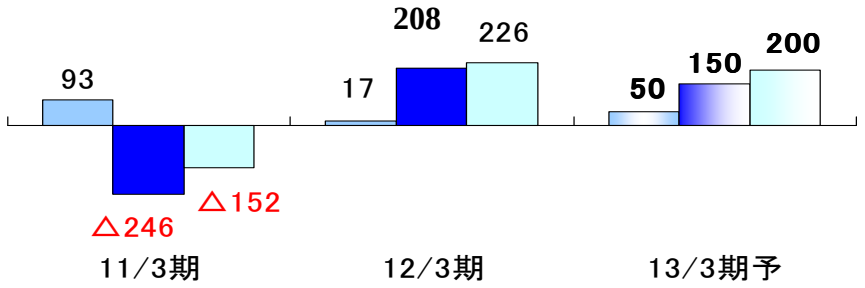
(%)





当期純利益

(単位:百万円)

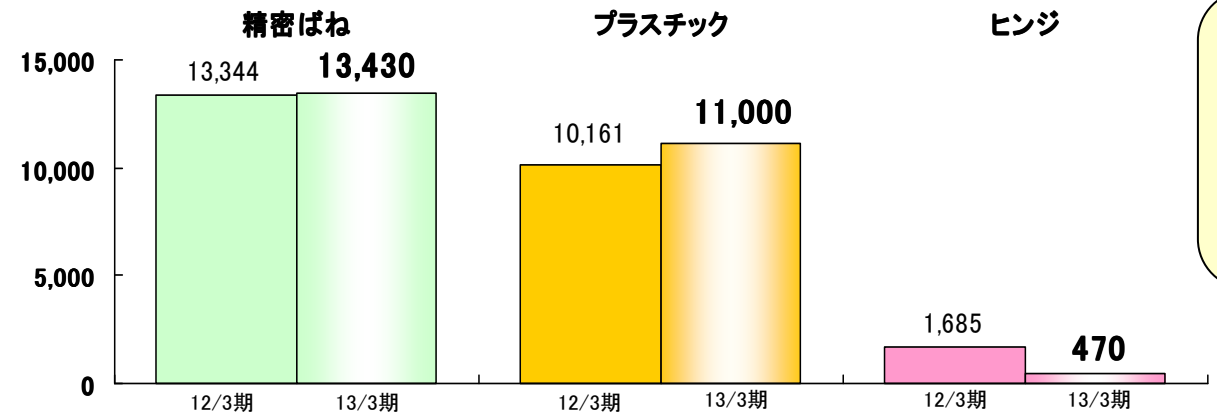


ADVANEX

2-4 事業別売上高・セグメント利益の比較

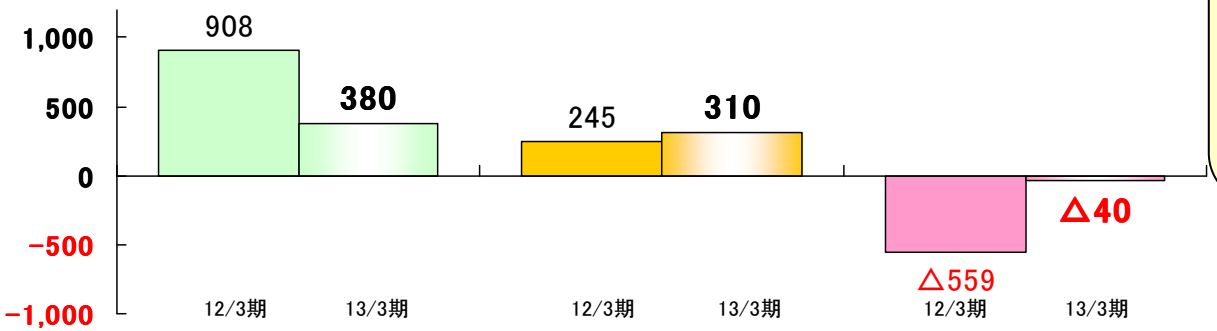
売上高

（単位：百万円）



精密ばね事業は、自動車向けが伸びるものの、OA機器やPC関連向けが減少。プラスチック事業は自動車向けが増加。ヒンジ事業は、事業縮小が更に進む。

セグメント利益



精密ばね事業は、国内で利益率の高い商品が減少するため、利益が減少。プラスチック事業は売上増に伴い、利益増加。ヒンジ事業は、損失が大幅に減少。

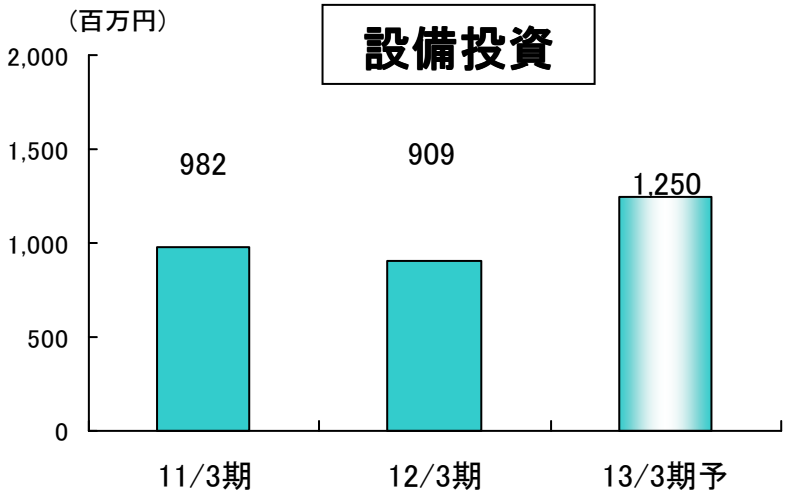
ADVANEX

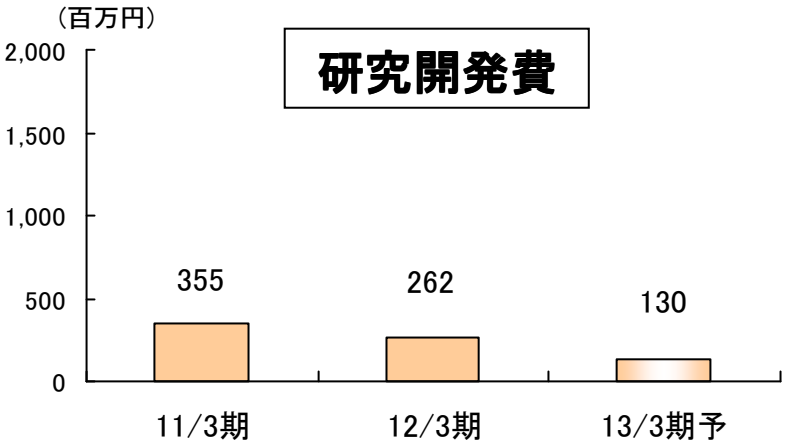
2-5　設備投資今期計画

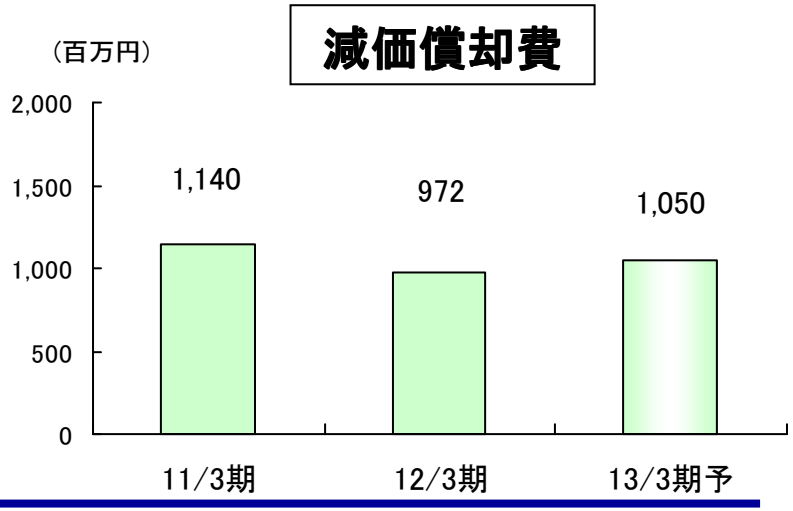
■タイ工場の復旧費用・機械購入のため設備投資額が増加

設備投資:　機械装置、試作設備ほか
国内　400百万円　海外　850百万円

研究開発費:ヒンジユニット開発費減少







ADVANEX

3. 今後の事業方針

3-1 資本金・資本準備金の減少について

目的： 欠損填補

６月の株主総会承認後、７月末に実施。2013年３月期の当期純利益（子会社からの受取配当金を含む）によって、欠損を解消し、６期ぶりに復配（1株あたり1円）を行う予定。

資本勘定内訳（個別）（百万円）	2012/03末 残高	減資	準備金取崩	剰余金取崩	積立金取崩	2012/07末 施策実行後
① 資本金	3,451	△2,451				1,000
② 資本準備金	862		△612			250
③ その他資本剰余金	1,681			△1,681		0
④ 資本剰余金合計 ②+③	2,544		△612	△1,681		250
⑤ 別途積立金	200				△200	0
⑥ 繰越利益剰余金	△5,303	2,451	612	1,681	200	△357
⑦ 利益剰余金合計 ⑤+⑥	△5,103	2,451	612	1,681	0	△357
⑧ 自己株式	△3					△3
⑨ 株主資本合計 ①+④+⑦+⑧	888	0	0	0	0	888
⑩ その他	12					12
⑪ 純資産合計 ⑨+⑩	901	0	0	0	0	901

ADVANEX

3-2　今後の事業方針（1）

精密ばね事業

中期目標：売上成長率 10%/年の継続
営業利益率10%の達成（2016/3期）

・国内　エリア拡大による売上増加（提案営業による潜在顧客開拓）
　　Ｍ＆Ａ戦略（中小ばねメーカーを検討）
・海外　新工場設立（大手顧客の生産海外移転に対応）
　　中国・華東地区　(2012年)、インド（2014年）ほか
・グループネットワーク強化
　　個別最適から全体最適を追求する体制への転換
　　本社・アジアの経営一元化：　シンガポール子会社社長を本社役員に抜擢

重点市場：　OA機器、自動車、医療

戦略商品：　タングレスコイルスレッド、インサートカラー
　　TAMONT、ダンパー等の高付加価値製品

ADVANEX

3-3　今後の事業方針（2）

プラスチック事業

海外事業強化と利益率の改善

・自動車向け販売を強化
　　OA機器向けは海外生産移転により国内売上高減少
・海外営業との連携強化、グローバルセールス拡大
　　マレーシア子会社の完全子会社化（現地資本の30%株式取得）
　　中国、ベトナムの収益拡大
・高性能ギヤユニット・セラミック製品等の高付加価値商品の開発強化

ヒンジ事業

新規需要開拓

・グループの回転系技術をトータルでマーケティング
・自動車・医療・住設関連向けの新規需要開拓



ADVANEX

（お問い合わせ先）

株式会社アドバネクス
広報IR部

TEL：03 － 3822 － 5865　　FAX：03 － 3822 － 5873

URL：http：//www.advanex.co.jp